【企画・研究係彙報】（令和５年１月～ 12 月）

【令和４年度】

1 月 13 日　一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（展示期間：1 月 13 日～ 4 月 6 日）。『萬葉集傍注』（巻二）を展示。阪口由佳主任研究員（以下、阪口研究員）が解説を執筆。

1 月 18 日　館蔵品展「万葉コレクション展―大和の古寺と風景―」(展示期間:1月18日～3月12日）を万葉文化館日本画展示室にて開催。記者内覧会を実施し、染田英美子主任学芸員（以下、染田学芸員）が取材対応。

1 月 18 日　令和 4 年度 日本博主催・共催型プロジェクト 関連展示「大和の伝統芸能―伎楽面と舞楽面―」（展示期間：1 月 18 日～ 3 月 12 日）を万葉文化館ホワイエにて開催。万葉文化館第 7 回委託共同研究（平成 24・25 年度実施）研究代表者である見市泰男氏（能面打）ほか作の当館所蔵伎楽面等を展示。

1 月 18 日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で井上さやか企画・研究係長（以下、井上係長）が「寧楽の故りにし郷（巻 6・1044 ～ 1049 番歌)」を講義。以後、「万葉集をよむ」のインターネット同時配信を毎回実施。

1 月 21 日　葛城市立図書館主催「葛城市立図書館講座」（会場：葛城市立新庄図書館）で阪口研究員が「額田王の歌と生涯」と題して講演。

1 月 22 日　溝渕雅幸監督・武田以知郎医師出演のドキュメンタリー映画「明日香に生きる」の村民試写会（会場：万葉文化館）を開催。同映画内の万葉歌について井上係長が選歌・監修。

1 月 28 日　奈良教育大学主催 ESD 研究会（会場：万葉文化館）に井上係長が参加。

1 月 29 日　第 90 回「万葉古代学講座」(会場:万葉文化館）で竹内亮主任研究員（以下､竹内研究員）が「日本古代貨幣の誕生と終焉」と題して講演。以後、「万葉古代学講座」のインターネット同時配信を毎回実施。

1 月 29 日　古事記学会理事会（オンライン）に井上係長・阪口研究員が出席。

2 月 11 日　第 91 回「万葉古代学講座」（会場：万葉文化館）で阪口研究員が「上代文学における鳥の表象」と題して講演。

2 月 12 日　令和 4 年度 日本博主催・共催型プロジェクト 特別講演会「大和の伝統芸能」（会場：万葉文化館）開催。見市泰男氏による講演「伎楽面・舞楽面・能面」、片山九郎右衛門師（観世流シテ方）による講演「大和国と能楽」・装束解説・能楽実演を実施。

2 月 15 日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で竹内研究員が「恭仁遷都と難波遷都（巻 6・1050 ～ 1061 番歌)」を講義。

2 月 18 日・19 日　万葉文化館ボランティアガイド研修で井上係長・竹内研究員・阪口研究員・染田学芸員が講師を務める。

2 月 19 日　奈良市立中部公民館主催「奈良学セミナー」（会場：奈良市立中部公民館）で阪口研究員が「恋の万葉集～柿本人麻呂と大伴家持～」と題して講演。

2 月 22 日　宮崎県東京事務所主催「三州倶楽部 宮崎懇談会 講演会」（会場：三州倶楽部）で井上係長が「三州ゆかりの万葉歌―うたと神話―」と題して講演。

2 月 23 日　山口市教育委員会主催「鋳銭司・陶地域むかし講座」(会場:鋳銭司地域交流センター）で竹内研究員が「日本古代の貨幣鋳造機関―飛鳥池遺跡から周防鋳銭司まで―」と題

して講演。

3 月 5 日　大和三山風景林協議会主催「大和三山風景林協議会講演会　大和三山にいにしえ人を想う」（会場：橿原市商工経済会館）で、前園実知雄氏（奈良県芸術短期大学特任教授）の講演「古代史の中の大和三山」の後に、井上係長が「万葉歌からみる大和三山」と題して講演。

3 月 7 日　万葉文化館ボランティアガイド研修（再任者対象）で井上係長が講師を務める。

3 月 8 日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で阪口研究員が「難波宮と敏馬の浦（巻 6・1062 ～ 1067 番歌）」を講義。

3 月 11 日　宇治市公園公社主催「宇治みどりの学校 講演会」（会場：宇治市植物公園）で井上係長が「万葉歌によまれた植物たち」と題して講演。

3 月 12 日　美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。

3 月 17 日　『万葉古代学研究年報』第 21 号を刊行。

3 月 17 日　『万葉古代学研究年報』第 20・21 号に掲載した論文・共同研究報告を J-STAGE（国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するオンラインプラットフォーム）で公開。

3 月 17 日　万葉集関連情報検索システム「万葉百科」をインターネットで公開。

3 月 19 日　第 92 回「万葉古代学講座」（会場：万葉文化館）で井上係長が「『万葉集』にみる天武天皇」と題して講演。

3 月 31 日　西田彩乃展覧会事業アドバイザーが退任。

【令和５年度】

4 月 1 日　平出実乃里技師（以下、平出学芸員）が着任。

4 月 5 日　朝日放送（ABC テレビ）による万葉文化館万葉庭園の撮影取材に竹内研究員が対応。

4 月 6 日　情報検索システム「万葉百科」に関する読売新聞の取材に阪口研究員が対応。4 月 29 日付同紙朝刊（奈良版）および５月１日付オンライン版に記事掲載。

4 月 9 日　美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。

4 月 11 日　特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」（展示期間：4 月 11 日～ 5 月 28 日）を万葉文化館日本画展示室にて開催。記者内覧会を実施し、染田学芸員が取材対応。

4 月 11 日　一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（展示期間：4 月 11 日～ 5 月 28 日）。寛永版本・宝永版本『万葉集』（巻八）を展示。阪口研究員が解説を執筆。

4 月 16 日　特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」で染田学芸員がギャラリートークを実施。

4 月 19 日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で井上係長が「雑歌 天・月・雲・雨の歌（巻 7・1068 ～ 1091 番歌）」を講義。

4 月 19 日　特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」で染田学芸員がギャラリートークを実施。

4 月 21 日　三郷町教育委員会主催「三郷町みさと万葉学習会」（会場：三郷町立図書館）で阪口研究員が「雄略天皇の歌と伝承」と題して講演。

4 月 22 日　古事記学会 4 月例会（オンライン）で阪口研究員が運営補助を担当。

4 月 26 日　奈良県立大学ユーラシア研究センター主催「近世奈良を語る会」に井上係長が客員研究員として出席。

5月13日	出張講演会「杉岡華邨と中路融人―響き合う書と絵画―」（会場：奈良まほろば館）で染田学芸員が特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」展示作品について講演。
5月13日	平城京跡サポートネットワーク主催「平城京歴史講座」（会場：平城宮いざない館）で井上係長が「平城京の万葉歌」と題して講演。
5月14日	美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。
5月17日	講座「万葉集をよむ」（会場:万葉文化館）で竹内研究員が「雑歌 山･川･花･鳥の歌（巻7・1092～1124番歌）」を講義。
5月17日	特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」で染田学芸員がギャラリートークを実施。
5月20日	上代文学会大会（会場：フェリス女子大学）で井上係長が理事会に出席。
5月27日	奈良教育大学主催ESD研究会（会場：万葉文化館ほか）で竹内研究員が飛鳥京跡苑池、飛鳥宮跡、飛鳥寺周辺、万葉文化館万葉庭園を現地案内。井上係長が万葉歌碑について、阪口研究員が記紀編纂と飛鳥宮について現地解説。
5月28日	古事記学会理事会（オンライン）に井上係長が出席。
6月4日	第８回万葉文化館主宰共同研究（研究代表者：井上係長）第１回研究会を実施（会場：万葉文化館）。
6月4日	美夫君志会常任理事会（オンライン）に井上係長が出席。
6月6日	一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（展示期間:6月6日～8月30日）。寛永版本･宝永版本『万葉集』（巻十）を展示。阪口研究員が解説を執筆。
6月9日	三宅町教育委員会主催「三宅町生涯学習推進講座」（会場：三宅町文化ホール）で阪口研究員が「やまとは国のまほろば」と題して講演。
6月15日	桜井市教育委員会主催「桜井市いきいき万葉学級」（会場：桜井市中央公民館）で竹内研究員が「壬申の乱と三輪氏」と題して講演。
6月17日	古事記学会大会（会場：宮崎県立看護大学）講演会で井上係長が総合司会を担当。
6月18日	古事記学会大会（会場：宮崎県立看護大学）で井上係長・阪口研究員が理事会に出席。研究発表会で阪口研究員が司会を担当。
6月21日	講座「万葉集をよむ」（会場:万葉文化館）で阪口研究員が「雑歌 芳野･山背･摂津の歌（巻7・1125～1160番歌）」を講義。
6月30日	三郷町教育委員会主催「三郷町みさと万葉学習会」（会場：三郷町立図書館）で竹内研究員が「壬申の乱と三輪氏」と題して講演。
7月1日	美夫君志会全国大会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。大会担当常任理事として招待研究発表者の接遇などを担当。
7月2日	美夫君志会全国大会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。
7月10日	奈良県立大学ユーラシア研究センター主催「近世奈良を語る会」に井上係長が客員研究員として出席。
7月11日	ジョセフ・ビルズ氏（慶應義塾大学）が来館、井上係長・阪口研究員が対応。
7月14日	令和５年度第１回毛原廃寺跡保存活用計画策定委員会（会場：山添村役場）に竹内研究員が委員として出席。
7月15日	奈良教育大学主催ESD研究会（会場：万葉文化館）で井上係長が「明日香の万葉歌」

と題してミニ講座を実施。竹内研究員・阪口研究員が特別展示室・一般展示室を案内。

7 月 16 日　太子町教育委員会主催「資料館講座」（会場：太子町万葉ホール）で阪口研究員が「はじめての万葉集」と題して講演。

7 月 19 日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で井上係長が「雑歌 羇旅の歌（1）（巻 7・1161 ～ 1187 番歌）」を講義。

7 月 20 日　展示用品および新収古典籍の燻蒸処理を実施。

7 月 22 日　日本書紀研究会（会場：大阪産業創造館）で阪口研究員が「古事記編纂再考－天武天皇と太安万侶－」と題して研究発表。

7 月 22 日　古事記学会理事会（オンライン）に井上係長が出席。

7 月 23 日　日本文学協会委員会（オンライン）に井上係長が出席。

7 月 29 日　「にぎわいフェスタ夏」の一環として、こども向けイベント「浦島太郎の紙芝居をつくろう」（会場：万葉文化館）開催。阪口研究員がワークショップを実施。

7 月 29 日　村井奈良県副知事が来館。井上係長が館内を案内。

7 月 31 日　古都飛鳥保存財団主催「飛鳥・藤原まるごと博物館検定」試験問題作成委員会（会場：古都飛鳥保存財団）に井上係長が出席。

8 月 4 日　特別展「近代日本画の流れ―光ミュージアムコレクションより―」の記者内覧会を実施。

8 月 5 日　特別展「近代日本画の流れ―光ミュージアムコレクションより―」（展示期間：8 月 5 日～ 9 月 24 日）を日本画展示室にて開催。今泉たまみ氏（光ミュージアム主任学芸員）によるオープニングギャラリートークを実施。

8 月 6 日　特別展「近代日本画の流れ―光ミュージアムコレクションより―」で平出学芸員がギャラリートークを実施。

8 月 11 日　「にぎわいフェスタ夏」の一環として、こども向けイベント「ミュージアムたんけん」（会場：万葉文化館）開催。平出学芸員が講師を務める。

8 月 12 日　第 20 回公開シンポジウム「奈良県吉野地方を中心とする蓄積型文学史」（会場：万葉文化館）開催。第 13 回委託共同研究「奈良県吉野地方を中心とする蓄積型文学史の共同研究」（令和 3・4 年度実施、研究代表者：倉持長子氏（国士舘大学））の成果報告の一環として、倉持氏による「はじめに―奈良県吉野地方を中心とする蓄積型文学史の研究―」に続き、渡邉卓氏（國學院大學）「上代文献にみる「吉野」の位相」、倉持氏「中世吉野をめぐる天武天皇伝承の展開」、田中康二氏（皇學館大学）「本居宣長の名所探究―『菅笠日記』における「吉野」表象の技法をめぐって―」、池田淳氏（金峯山寺寺史研究室）「外からの吉野―文学に表れた吉野観の変遷―」、髙野裕基氏（皇學館大学）「吉野神宮史にみる近代の「吉野」」の報告の後、渡邉氏の司会によるディスカッションを行った（倉持氏は事前に撮影した動画による報告）。

8 月 13 日　「にぎわいフェスタ夏」の一環として、こども向けイベント「古代遺跡のひみつ」（会場：万葉文化館）開催。竹内研究員が特別展示室・飛鳥池遺跡復原遺構を案内。

8 月 16 日　講座「万葉集をよむ」（会場:万葉文化館）で竹内研究員が「雑歌 羇旅の歌（2）（巻 7・1188 ～ 1222 番歌）」を講義。

8 月 16 日　特別展「近代日本画の流れ―光ミュージアムコレクションより―」で平出学芸員がギャラリートークを実施。

8 月 17 日・18 日　第 8 回万葉文化館主宰共同研究第 2・3 回研究会を実施（会場：万葉文化館）。

8月20日　「にぎわいフェスタ夏」の一環として、こども向けイベント「ミュージアムたんけん」（会場：万葉文化館）開催。染田学芸員が講師を務める。

8月20日　ホテル奈良さくらいの郷・やまとびとツアーズ主催「万葉古代学研究者と行く！～第1回～万葉歌に魅せられて　知る人ぞ知る、飛ぶ鳥の里をめぐる」（会場：万葉文化館）で井上係長が「明日香の万葉歌」と題して講演し、館内案内を実施。あわせて同ツアー夜間特別講座（会場：ホテル奈良さくらいの郷）で「『万葉集』に詠まれた「星」」と題して講演。

8月21日　ホテル奈良さくらいの郷・やまとびとツアーズ主催「万葉古代学研究者と行く！～第1回～万葉歌に魅せられて　知る人ぞ知る、飛ぶ鳥の里をめぐる」で井上係長が奥明日香、牽牛子塚古墳などの現地案内講師をつとめる。

8月22日　東城敏毅氏（ノートルダム清心女子大学教授）一行が来館。阪口研究員が館内を案内。

8月24日～27日　東アジア比較文化国際会議韓国大会（会場：中央大学校）で井上係長が「律令国家における詩歌集編纂」と題して研究発表。

8月25日　古事記学会関西例会（会場：甲南女子大学）で阪口研究員が運営補助を担当。

8月30日　一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（展示期間：8月30日～12月5日）。寛永版本・宝永版本『万葉集』（巻十三）を展示。阪口研究員が解説を執筆。

9月3日　桜井市立図書館主催「図書館文化講座」（会場：桜井市立図書館）で井上係長が「天武・持統の万葉歌―文学と歴史のあいだ―」と題して講演。

9月5日　NHK「ならナビ」撮影取材に井上係長が対応。9/8放送。ならナビ845、NHKプラス配信。

9月6日　瀬間正之氏（上智大学教授）が来館、井上係長・阪口研究員が館内案内。

9月8日　NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催「のべおか天下一薪能　能楽講座」（会場：延岡市民協働まちづくりセンター）で井上係長が「「井筒」にみる和歌の命脈」と題して講演。

9月10日　美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。

9月15日　「万葉古代学特別講座　万葉の日記念講座（テーマ「天武天皇・持統天皇とその時代」）」（会場：万葉文化館、日本博2.0事業（委託型））で井上係長が「天武・持統と『万葉集』」、竹内研究員が「史書編纂と天武天皇」、阪口研究員が「天武天皇と『古事記』」と題して講義。インターネット同時配信を実施。

9月17日　奈良県立美術館開館50周年記念特別展「仮面芸能の系譜」に当館所蔵伎楽面5点を貸し出し。

9月19日　古都飛鳥保存財団主催「飛鳥・藤原まるごと博物館検定」試験問題作成委員会（会場：古都飛鳥保存財団）に井上係長が出席。

9月20日　講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で阪口研究員が「雑歌 羇旅の歌（3）（巻7・1223～1250番歌）」を講義。

9月20日　特別展「近代日本画の流れ―光ミュージアムコレクションより―」で平出学芸員がギャラリートークを実施。

9月21日　奈良県立大学ユーラシア研究センター主催「近世奈良を語る会」に井上係長が客員研究員として出席。

9月21日　令和5年度第2回毛原廃寺跡保存活用計画策定委員会（会場：山添村役場）に竹内研究員が委員として出席。

9 月 23 日	「万葉古代学特別講座　国際講演会」（会場：万葉文化館、日本博 2.0 事業（委託型））で大村幸弘氏（公益財団法人中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所長）が「考古学の発掘現場（トルコ共和国）から見る日本」と題して講演。続いて井上係長がインタビュー形式で大村氏と対談。インターネット同時配信を実施。
10 月 2 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」の紹介パネル展示（展示期間：10 月 2 日～ 10 月 4 日）を奈良県庁屋上ギャラリーにて開催。
10 月 6 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」の内覧会を実施。
10 月 7 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」（展示期間：10 月 7 日～ 12 月 3 日）を日本画展示室にて開催。
10 月 8 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」で染田学芸員がギャラリートークを実施。
10 月 8 日	美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。
10 月 14 日	NHK ラジオ「ラジオ深夜便―人ありて、街は生き―歩いて感じて万葉集～飛鳥・藤原京～」に井上係長が出演。2019 年 10 月 5 日放送分の再放送。
10 月 14 日	特別展記念講演会（会場：万葉文化館）で絹谷幸二氏が「ふるさと大和の底力」と題して講演。講演中に絹谷氏と大村智氏（北里大学特別栄誉教授）による対談を実施。
10 月 14 日	すみよし歴史案内人の会主催「すみよし歴史案内人の会研修会」（会場：阿倍野区社会福祉協議会）で阪口研究員が「古事記の魅力」と題して講演。
10 月 15 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」で絹谷幸二氏がギャラリートークを実施。
10 月 18 日	講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で井上係長が「雑歌 問答・臨時・行路の歌（巻 7・1251 ～ 1271 番歌）」を講義。
10 月 18 日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」で染田学芸員がギャラリートークを実施。
10 月 19 日	TBS スパークル「奈良ふしぎ旅図鑑」の撮影取材に阪口研究員が対応。11 月 15 日放送（BS-TBS）。
10 月 20 日	NHK ラジオ「ラジオ深夜便―人ありて、街は生き―歩いて感じて万葉集～山の辺の道～前編・桜井ルート」、同「後編・天理ルート」に井上係長が出演。前編は 11 月 11 日、後編は 12 月 9 日放送。
10 月 22 日	第 21 回公開シンポジウム「『万葉集』と道教・仏教・医学―超越的存在への憧憬と苦からの解放―」（会場：万葉文化館）開催。第 13 回委託共同研究「『万葉集』と道教・仏教・医学～超越的存在への憧憬と苦からの解放」（令和 3・4 年度実施、研究代表者：大形徹氏（立命館大学））の成果報告の一環として、大形氏による「はじめに」に続き、多田伊織氏（大阪大学）「吉野　仙境とその周辺」、永原順子氏（大阪大学）「万葉集に見える超越的世界の継承―畏怖と憧憬の視点から―」、髙田宗平氏（中央大学）「「沈痾自哀文」と漢籍―山上憶良と算術の知識―」、大形氏「万葉集と水江浦嶋子―玉篋と魂をめぐって―」、山本優紀子氏（立命館大学）「万葉の竹取物語と月の伝説と不死の薬」、金文京氏（京都大学名誉教授）「『萬葉集』と「竹取物語」、「浦島物語」」の報告を行った。
10 月 28 日	奈良教育大学主催 ESD 研究会（会場：万葉文化館）を実施。井上係長・竹内研究員が出席。
10 月 29 日	「にぎわいフェスタ秋」の一環として、井上係長がワークショップ「ミニ巻物づくり」（会場：万葉文化館）を実施。
11 月 3 日	古事記学会編集委員会（オンライン）に井上係長が出席。

11月4日	放送大学奈良学習センター主催の面接授業「万葉文化概論」（会場：放送大学奈良学習センター）で井上係長が講師を務める。
11月5日	放送大学奈良学習センター主催の面接授業「万葉文化概論」（会場：万葉文化館および館周辺地域）で井上係長が講師を務める。
11月5日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」関連イベントとして、ファミリープログラムワークショップ「アフレスコを体験してみよう」（会場：万葉文化館）開催。絹谷幸二氏・坂本博孝氏（絹谷幸二 天空美術館）・髙橋暁生氏（絹谷幸二 天空美術館）によるワークショップを実施。
11月15日	講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で竹内研究員が「雑歌　旋頭歌（1272～1295番歌）」を講義。
11月15日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」で染田学芸員がギャラリートークを実施。
11月17日	特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」関連イベントとして、ワークショップ「アフレスコを描こう」（会場:万葉文化館）開催。絹谷幸二氏･坂本博孝氏･髙橋暁生氏によるワークショップを実施。
11月19日	島根県立古代出雲歴史博物館・斎宮歴史博物館・奈良県立万葉文化館 第6回三館連携シンポジウム「語り継がれる記紀万葉」（会場:大社文化プレイスうらら館だんだんホール）で阪口研究員が「本居宣長と『万葉集』―飛鳥･藤原をめぐって―」と題して講演。竹内研究員が広報ブース対応。
11月24日～25日	第8回万葉文化館主宰共同研究第4・5回研究会を実施。万葉文化館で研究報告、飛鳥宮跡・岡寺・春日奥山（香山堂跡ほか）で実地踏査。
11月30日	なら食と農の魅力創造国際大学校「奈良学入門」（会場:万葉文化館）で井上係長が「『万葉集』の世界」を講義。
12月5日	一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（展示期間:12月5日～令和6年2月28日）。寛永版本・宝永版本『万葉集』（巻二十）を展示。阪口研究員が解説を執筆。
12月9日	奈良教育大学主催ESD研究会（会場:万葉文化館）を実施。井上係長･阪口研究員が出席。
12月10日	美夫君志会例会（会場：中京大学）で井上係長が常任理事会に出席。
12月16日	「万葉古代学東京講座（テーマ「天武天皇・持統天皇とその時代」）」（会場：奈良まほろば館、日本博2.0事業（委託型））で井上係長が「天武・持統と『万葉集』」、竹内研究員が「史書編纂と天武天皇」、阪口研究員が「天武天皇と『古事記』」と題して講義。インターネット同時配信を実施。
12月19日	奈良芸術短期大学「明日香学」（会場:奈良芸術短期大学）で井上係長が「飛鳥と万葉」を講義。
12月20日	講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で阪口研究員が「譬喩歌(1)（1296～1330番歌）」を講義。
12月23日	第93回「万葉古代学講座」（会場：万葉文化館）で井上係長が「律令国家と詩歌」と題して講演。
12月26日	奈良市立一条高等学校・附属中学校国語科主催のフィールドワーク「万葉集を体感しよう」で井上係長が「万葉集を体感しよう」を講義し、館内案内。あわせて館周辺のフィールドワークの講師を務める。

◆研究員業績一覧

【井上　さやか】

［研究論文］

「『万葉集』にみる天武天皇像―「壬申年之乱」を視座に―」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和 5 年 3 月

「古代飛鳥の聖なる水」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和 5 年 3 月

［研究発表］

「律令国家における詩歌集編纂」（東アジア比較文化国際会議韓国大会）、令和 5 年 8 月 25 日

［書籍等出版物］

〔分担執筆〕「近世・近代の万葉集研究」『奈良に蒔かれた言葉Ⅱ　近世・近代の思想』奈良県立大学ユーラシア研究センター学術叢書シリーズ 2（Vol.3）、京阪奈情報教育出版、令和 5 年 3 月

〔分担執筆〕「コラム：『古事記』の視覚化」『特別展　飛鳥の祝歌　絹谷幸二展』図録、奈良県立万葉文化館、令和 5 年 10 月

〔分担執筆〕『飛鳥・藤原まるごと博物館検定試験 公式テキストブック』淡交社、令和 5 年 10 月

［その他］

第 7 回奈良県立万葉文化館主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究―『万葉集』にみる―」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和 5 年 3 月

「はじめての万葉集 Vol.106 河島皇子挽歌」（『県民だより奈良』2023 年 2 月号、奈良県広報広聴課）、令和 5 年 2 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 2 月 22 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 3 月 8 日）

「はじめての万葉集 Vol.109 五月の花橘」（『県民だより奈良』2023 年 5 月号、奈良県広報広聴課）、令和 5 年 5 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 5 月 24 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 6 月 7 日）

「はじめての万葉集 Vol.112 白雲のたなびく山の彼方に」（『県民だより奈良』2023 年 8 月号、奈良県広報広聴課）、令和 5 年 8 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 8 月 30 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 9 月 13 日）

「天武天皇と『万葉集』」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』16 号）、令和 5 年 7 月 5 日

「見る知る万葉文化館コレクション　伝江南院龍霄筆切」（読売新聞〈地域版〉、令和 5 年 5 月 17 日）

「はじめての万葉集 Vol.115 駿河麻呂と坂上郎女」（『県民だより奈良』2023 年 11 月号、奈良県広報広聴課）、令和 5 年 11 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 11 月 22 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和 5 年 12 月 6 日）

【竹内　亮】

［研究論文］

「九～十世紀の貨幣鋳造機関」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和 5 年 3 月

「飛鳥の大寺と山寺」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和 5 年 3 月

［研究発表］
「古代寺院の造営と文字」（令和５年度言語文化セミナー「文字のかたち、文字の意義―日本古代の言語文化」）、令和５年６月 17 日
［その他］
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年１月 11 日）
「見る知る万葉文化館コレクション　金沢文庫本万葉集断簡」（読売新聞〈地域版〉、令和５年１月 25 日）
「はじめての万葉集 Vol.107 新田部皇子への献歌」（『県民だより奈良』2023 年３月号、奈良県広報広聴課）、令和５年３月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年３月 29 日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年４月 12 日）
「見る知る万葉文化館コレクション　日本書紀」（読売新聞〈地域版〉、令和５年４月 26 日）
「2022 年の歴史学界 回顧と展望 日本 (古代)5(宗教・思想 [総説・仏教 (飛鳥・奈良)])」（『史學雜誌』第 132 編第５号、史学会）、令和５年５月
「はじめての万葉集 Vol.110 元正天皇の御製歌」（『県民だより奈良』2023 年６月号、奈良県広報広聴課）、令和５年６月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年６月 21 日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年７月５日）
「見る知る万葉文化館コレクション　日本霊異記（仮名本）」（読売新聞〈地域版〉、令和５年８月２日）
「はじめての万葉集 Vol.113 寧楽の故郷を傷惜む歌」（『県民だより奈良』2023 年９月号、奈良県広報広聴課）、令和５年９月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年９月 27 日）
「檜隈の地名」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』17 号）、令和５年９月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年 10 月 11 日）
「はじめての万葉集 Vol.116 春日王と春日宮」（『県民だより奈良』2023 年 12 月号、奈良県広報広聴課）、令和５年 12 月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和５年 12 月 20 日）

【阪口　由佳】
［研究論文］
「上代文学における鳥の表象 」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和５年３月
「葛城の鴨の神なび 」（『万葉古代学研究年報』第 21 号）、令和５年３月
［研究発表］
「古事記編纂再考－天武天皇と太安万侶－」（日本書紀研究会）、令和５年７月 23 日
［書籍等出版物］
〔分担執筆〕『特別展　飛鳥の祝歌　絹谷幸二展』図録、奈良県立万葉文化館、令和５年 10 月（展示作品解説「訂正古訓古事記」「Japanese Fairy Tale Series」）
［その他］
「はじめての万葉集 Vol.105 鹿の鳴く山」（『県民だより奈良』2023 年１月号、奈良県広報広聴課）、令和５年１月
「見る知る万葉文化館コレクション　万葉集」（平仮名傍訓本）」（読売新聞〈地域版〉、令和５年１月 19 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年1月25日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年2月8日）
「川に立つ霧」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』15号）、令和5年3月
「はじめての万葉集 Vol.108 近江荒都歌」（『県民だより奈良』2023年4月号、奈良県広報広聴課）、令和5年4月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年4月26日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年5月10日）
「はじめての万葉集 Vol.111「東西の市」（『県民だより奈良』2023年7月号、奈良県広報広聴課）、令和5年7月
「見る知る万葉文化館コレクション　萬葉集巻第一」（読売新聞〈地域版〉、令和5年5月24日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年7月19日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年8月2日）
「見る知る万葉文化館コレクション　薄葉本萬葉集」（読売新聞〈地域版〉、令和5年8月30日）
「はじめての万葉集 Vol.114「夜明けの秋風」（『県民だより奈良』2023年10月号、奈良県広報広聴課）、令和5年10月
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年10月25日）
「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和5年11月8日）
「人麻呂の巻向歌群」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』18号）、令和5年11月

【染田　英美子】
［研究論文］
「万葉日本画の服飾表現について」（『万葉古代学研究年報』第21号）、令和5年3月
［書籍等出版物］
〔分担執筆〕『特別展　飛鳥の祝歌　絹谷幸二展』図録、奈良県立万葉文化館、令和5年10月（［コラム］「守り伝えられる法隆寺金堂壁画」、展示作品解説ほか）
［担当展覧会］
特別展「万葉歌から生まれた美の世界―杉岡華邨の書を中心に―」（会期：令和5年4月11日～5月28日）
特別展「飛鳥の祝歌　絹谷幸二展」（会期：令和5年10月7日～12月3日）
［その他］
「杉岡華邨と中路融人―響き合う書と絵画― 」（奈良県立万葉文化館　展覧会だより第112号、令和5年4月11日）
「見る知る万葉文化館コレクション　後藤純夫《新雪大和》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年2月1日）
「見る知る万葉文化館コレクション　片岡球子《富士》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年2月15日）
「見る知る万葉文化館コレクション　上村淳之《佐保の詩》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年3月1日）
「見る知る万葉文化館コレクション　折井宏光《鷹狩》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年4月5日）
「見る知る万葉文化館コレクション　上村松篁《春愁》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年6月14日）
「見る知る万葉文化館コレクション　箱崎睦昌《藤波の花》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年6月21日）
「見る知る万葉文化館コレクション　清水操《立夏》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年7月12日）
「見る知る万葉文化館コレクション　川崎鈴彦《有磯海》」（読売新聞〈地域版〉、令和5年9月13日）

「見る知る万葉文化館コレクション　髙山辰雄《弭の音》」（読売新聞〈地域版〉、令和５年10月４日）
「見る知る万葉文化館コレクション　手塚雄二《月読》」（読売新聞〈地域版〉、令和５年12月13日）

【平出　実乃里】
［担当展覧会］
特別展「近代日本画の流れ－光ミュージアムコレクションより－」(会期：令和５年８月５日～９月24日)
［その他］
「近代日本画の流れ」（奈良県立万葉文化館　展覧会だより第113号、令和５年８月５日）

◆収蔵品貸出実績
令和５年９月30日～11月12日
「開館50周年記念特別展　仮面芸能の系譜―仮面芸能のふるさと奈良―」 奈良県立美術館主催
収蔵品５点

令和５年10月14日～12月24日
「特別展　文化勲章受章・卒寿記念　上村淳之展」 松伯美術館主催
万葉日本画１点